

年頭のあいさつ



小城市議会
議長 中島 正之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年7月3日に市内で発生した集中豪雨に伴う道路冠水により、各所で通行規制があり、市民生活をはじめ、市内経済に大きな影響を及ぼしました。

この経験により、私たちは災害に対する備えの必要性を改めて痛感すると同時に、一方で町内会関係者による独居高齢者の安否確認や避難所における市民団体のボランティア活動など、助け合い、支え合う『地域の力』の大切さを再認識することにもなりました。

さて、小城市議会は昨年、『小城市議会基本条例』に掲げる理念のもと、多くの市民の皆さまの意見をお聞きするため、市内4か所において議会報告会を精力的に取り組んでまいりました。

今後も、さまざまな市政課題の解決に向け、市民の皆さまの声を十分聞きし、活発な議論を重ねるとともに、市議会の改革・活性化に引き続き取り組みながら、市民と協働する議会を目指し、全力を尽くしてまいります。

どうかこれからも力強いご支援、ご協力をお願いしますとともに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸せて実り多く、飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成26年度

一般会計・特別会計補正予算を承認

**平成26年度 一般会計補正予算(第3～6号)は、
3億971万円を増額し、213億2,104万円**

平成26年12月定例会は11月27日から12月18日までの22日間開催され、8件の平成25年度決算認定を含む33件の議案が提出され、慎重審議の上、可決された。

歳入の主なものは、ふるさと納税額の増加によるものが最も多く、固定資産税を中心とした市民税、国・県支出金の増加、また財源調整のための基金繰入金の減少などである。

歳出の主なものは、「ふるさと納税推進事業」の報償費（品代）、障害者福祉費などの民生費、都市計画街路事業などの土木費などである。

またこれら以外には、専決処分により、衆議院議員選挙費用と県知事選挙費用が、国・県支出金により補正されている。

平成26年度 12月補正予算の状況

一般会計・特別会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（第3～6号）	210億1,133万円	3億971万円	213億2,104万円
授産場特別会計	2,571万円	—	2,571万円
簡易水道特別会計（第1号）	718万円	—	718万円
下水道特別会計（第1号）	25億6,622万円	920万円	25億7,542万円
国民健康保険特別会計（第3号）	57億3,738万円	240万円	57億3,978万円
後期高齢者医療特別会計	4億9,782万円	—	4億9,782万円

企業会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
水道事業会計（第2、3号）	6億2,482万円	112万円	6億2,595万円
病院事業会計（第1号）	16億8,727万円	747万円	16億9,474万円

※単位未満の額は切り捨てています。

< 補正予算の主なもの >

事業名	補正予算額	事業名	補正予算額
ふるさと納税推進事業	7,438万円	協働によるまちづくり推進事業	128万円
天山地区共同環境組合事業	959万円	社会保障・税番号制度の創設に伴うシステム	98万円
認可外保育施設運営支援事業	632万円	青年就農給付金給付事業	75万円
市道小城公園・本告線歩道設置事業	173万円	自立支援医療給付事業	69万円

< 専決処分による補正 >

内容	補正予算額	内容	補正予算額
県知事選挙費用	2,485万円	衆議院議員選挙費用	2,006万円

ふるさと納税推進事業

7,438万円

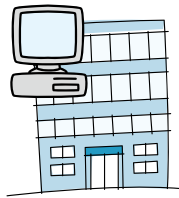
小城市外に在住する方へ、小城市を応援していただくために、ふるさと

平成27年3月1日に、旧小城市4町の合併により誕生した小城市は10周年を迎える。シンポジウムの統一テーマは「人口減少社会を生き抜く、まちづくり」を探る。3月1日にドウイング三日月にて、記念式典とアトラクション、基調講演、パネルディスカッションを実施する。

市制施行10周年記念シンポジウム事業

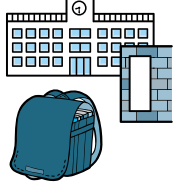
6万2千円

総務・企画



主な事業

教育・文化・福祉



住民ニーズの多様化により、地域が抱える課題は複雑化している。住民自ら地域の課題に向き合い、行政と一体となつてまちづくりを総合的に進めていく中で、諸団体の代表による「検討委員会」の開催回数を増やしたり、「アンケート」を実施する。

協働によるまちづくりを推進する事業

128万円

納税（寄附金）を推進している。寄附金額に応じて、お礼に「小城市の逸品」を進呈している。インターネット上のサイトに掲載したところ、予想以上に寄附申し込みが増加した。